

# 山王台だより 2月号



横浜市磯子区磯子5丁目2-1

TEL 045 (755) 1107

## 学援隊の皆さまに感謝

副校長 佐久間 宣朝

先日の大雪や平成に入ってから横浜の最低気温と、例年よりも厳しい冬を迎えています。そんな中、子どもたちの多くは、雪に大喜び。久しぶりの雪遊びを楽しんでいました。

こんな凍てつく寒い日の朝、子どもたちは登校してきます。そして子どもたちの登校と一緒に始まるのが、毎日に欠かさずに交差点に、横断歩道に立ってくださっている学援隊の皆さんの活動です。保護者として参加して下さっている方もいます。大変に感謝です。また、地域の方々も学援隊として、登校を見守って下さっています。本当に頭が下がります。そうした方々の日頃の活動に感謝して、5年生が「感謝の会」を1月24日に開きました。

音楽室にお招きし、歌や合奏を発表し、感謝の言葉を伝えました。その後、5年生のクラスで交歓給食を行いました。

参加した地域の方々に登校の見守りをしている感想を伺いました。すると「子どもたちの声を聞き、顔を見ると元気が出るのよ。」「毎日、子どもたちが挨拶をしてくれてうれしい。」「タッチをしていく子もいる。中には中学生になってもしてくる子がいる。」「挨拶は見守りの時だけではない。先日、上大岡に行った時、人通りの多いところで声をかけてくれた子がいた。覚えてくれている。」学援隊の方々は、子どもたちとのコミュニケーションをととても喜んでくださっていました。



感謝の会 5年生の合奏

見守りは、寒い日だけではなくありません。夏には朝から日差しの強い日もあります。大雨に打たれながらずぶ濡れになって見守ってくださる日もあります。また、下校時、子どもたちの声が聞こえると、見守りにかけつけてくださる方もいます。学校としてはありがたい限りです。

また、学校の土手の草をむしり、植物を育て、きれいな花を咲かせてくださっている方もいます。いろいろな花は、子どもたちに季節を感じさせてくれたり、通る人の心を和ませてくれたりします。11月には見事なコウテイダリアがきれいに咲き、道行く人からも「とてもきれいな花ですね。」と、声をかけていただきました。

子どもたちや学校は、こうしたボランティア活動の方々に支えられています。子どもたちはやがて大人になります。こうした方々の心に触れ、感謝の思いからやがて奉仕の心、ボランティア精神へと育ち、将来子どもたちや周りの人たちのために汗を流せる人に育っていくことと信じています。

学援隊の皆さま、本当にありがとうございます。そしてこれからも子どもたちの見守りを、よろしく願いいたします。



土手に咲いたコウテイダリア